

登録橋梁基幹技能者 平成22年度試験問題

[解答作成の注意事項]

1. この試験問題は、**四肢択一式 50 問で全て必須**です。問題ごとに正解は1つしかありません。1問につき2つ以上解答すると、その問題の解答は無効になります。
2. 回答は、**回答用紙に記入**してください。
3. 解答用紙の所定欄に、**受講番号**を記入して下さい。（氏名を書く欄はありませんので、受講番号を間違えないように注意してください。）
4. 回答記入は鉛筆を使用し、訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから新しく記入してください。

[その他の注意事項]

1. 試験係員の「始め」の合図があるまで、試験問題の内容を見てはいけません。
2. 「始め」の合図があったら、ただちにページ数の不足および印刷の不鮮明なところがないことを確かめて下さい。もしあったら取り替えますから、手をあげて試験係員に申し出て下さい。
3. 試験問題の内容についての質問には、お答えできません。
4. 式あるいは文章等を記憶する機能を有する計算機（例えば、ポケットコンピュータ、電子手帳等）・携帯電話機は、使用を禁止します。
5. この試験の解答時間は、「始め」の合図があってから **1 時間 30 分**です。**試験開始後 1時間および終了前 10 分間は退場できません。**
6. 試験開始後 1 時間から試験終了前 10 分までの間に途中退場を希望する人は、解答用紙および試験問題用紙を机の上に裏返しにしておき、手をあげてから、試験係員の指示を得て、静かに退場して下さい。ただし 16 時 30 分から終了式を行いますので、時間になったら席についてください。
7. 「終り」の合図があったら、ただちに解答の作成をやめ、解答用紙を机の上に裏返しにし、試験係員が回収するまでそのまま待っていて下さい。試験終了後は試験問題用紙を持ち帰ってもかまいません。

受講番号 _____

- ・ 途中退場して試験終了後に本試験問題用紙を受取りにくる場合、あらかじめここに受講番号を記入して下さい。（自分のものであることの確認のため）

安全管理の問題

1) ～ 9) の間で () に当てはまる答えを選び、番号で答えなさい。

- 1) 労働安全衛生法は、労働基準法と相まって、労働災害防止のための危険防止基準の確立、事業場内の責任体制の明確化、事業者が総合的、計画的な対策を推進することにより、“職場における () の安全と健康を確保するとともに快適な作業環境の形成を促進する”ことを目的としている。

① 事業者 ② 労働者 ③ 第三者 ④ 家族

- 2) 建設業において、高所からの墜落・転落による労働災害が多発していることから、足場等からの墜落防止等の対策の強化を図るため、足場、架設通路および作業構台からの墜落防止措置等に関し、労働安全衛生規則の一部（足場等関係）が改正（平成21年6月1日から施行）された。わく組足場では交さ筋かい下部のすき間からの墜落を防止するため、交さ筋かいに加え、「下さん」や「()」等の設置、または、「手すりわく」の設置が必要になった。

① 親綱 ② メッシュシート ③ 手すり ④ 幅木

- 3) 事故の型別・起因高さ別・橋梁形式別で直近3年間（2007年～2009年）の災害を分析すると、橋梁形式別ではI桁・箱桁架設において92%が発生している。起因高さ別では5m未満が最も多い。事故の型別では() 災害が68%と1番多く、橋梁工事の特徴である高所作業の恐ろしさを物語っている。

① 墜落・転落 ② 飛来・落下 ③ 挟まれ・巻き込まれ ④ 交通事故

- 4) 安全で、より効果的な施工をするために、安全と施工を一体のものとしてとらえて進めていくことが基本となる。安全朝礼で始まり、終業時確認で終わる() を、毎日確実に実施し、自分はもちろん、部下（仲間）の誰一人怪我をさせず良い仕事をする、そのような意識を高め、継続的に実行することが重要である。

① 安全当番制 ② 抜き打ちパトロール ③ 安全施工のためのサイクル
④ 作業終了点検

5) 作業を安全に実施するためには、実施する作業にどのような危険性または有害性が潜んでいるか、作業開始前に安全ミーティング、() 等で洗いだし、評価して、対策を講じ、これらを作業中実施することが重要である。

- ① 地域貢献活動 ② 危険予知活動 ③ 広報活動 ④ 防火活動

6) 安全帯の使用においてU字吊り状態とする場合、必ず「1本吊りとU字吊り共用型」または、「U字吊り専用型」を使用すること。U字吊り状態で使用する場合は、フックが() に確実に掛っていることを目視により確認しなければならない。

- ① カラビナ ② バックル ③ 伸縮調整装置 ④ D環

7) 6,600Vの配電線の最小離隔距離は1.2m以上と労働局通達で定められているが、電力会社では目標離隔距離を() m以上としている。

- ① 2.0 ② 2.2 ③ 3.0 ④ 4.0

8) 鋼橋架設等作業主任者の職務は、

- a) 作業の方法および労働者の配置を決定し、作業を() する。
b) 器具、工具、安全帯等および保護帽の機能を点検し、不良品を取り除く。
c) 安全帯および保護帽の使用状況を監視する。

- ① 直接実施 ② 補助 ③ 直接指揮 ④ 合図

9) わく組足場以外の足場(一側足場を除く)では、物体の落下防止措置のため、高さ() cmの幅木、メッシュシートまたは防網(同等の措置を含む)を設置しなければならない。

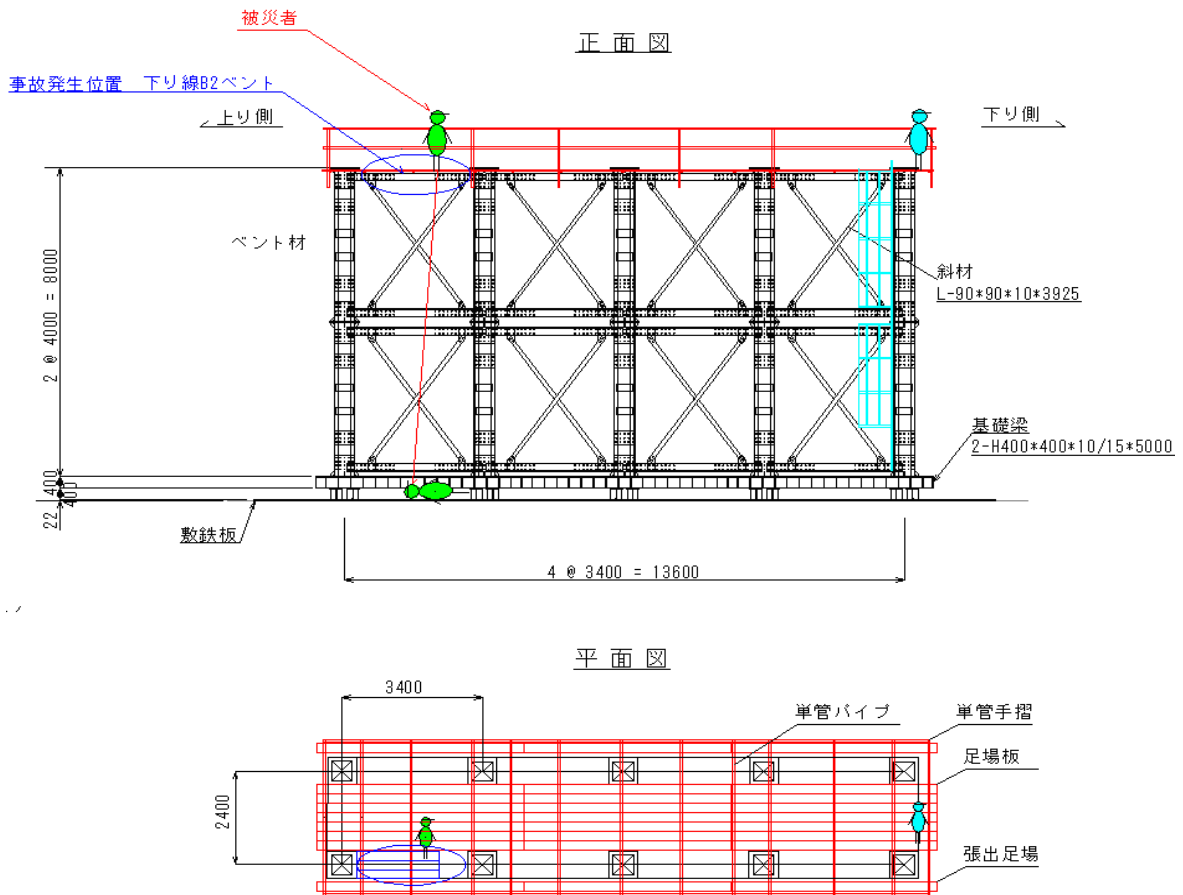
- ① 5 ② 10 ③ 15 ④ 30

10) 下図の事故発生状況において、①～④のうち、事故原因として明らかに関係ないものはどれか番号で答えなさい。

- ① 安全帯は着用していたが、使用していなかった。→危険行為
- ② 足場の組立等作業主任者の監視不足だった。→管理不備
- ③ 柱間部の作業床設置の詳細な作業手順が記載されていなかった。→作業手順の不備
- ④ バイスクランプ締付部に養生材を挟み込んだため、十分な締付力が働かずバイスクランプが滑り外れた。→設備不備

ベント柱連結部に設置する足場の柱間部の作業床を設置している際、固縛されていない足場板の張り出し部に誤って乗り9.0m墜落した。

※被災者： 鳶工・経験14年・入場368日、脳挫傷により死亡

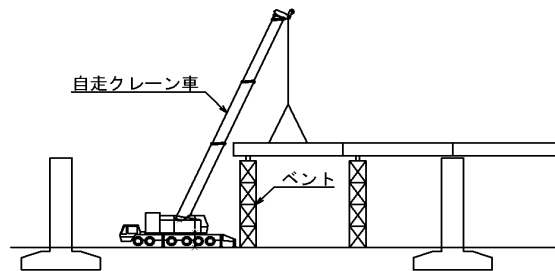


架設概論の問題

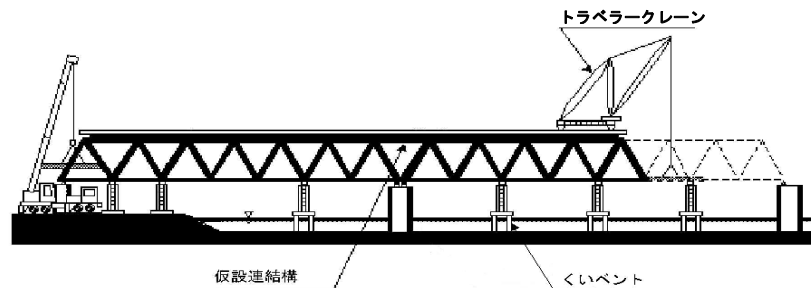
11) 次の選定条件に最も当てはまるベント工法を示すイメージ図は①～④のうちどれか。

- 条件 1. 架設地点まで重機（TC, CC）が進入できる（水上部であっても、栈橋設置または瀬替えによって、進入可となる場合を含む）。
2. 桁下にベント設置が可能である（地耐力は確保されている）。
3. 架設地点への架設部材の搬入路が確保されている。
- ※TC：トラッククレーン, CC：クローラクレーン

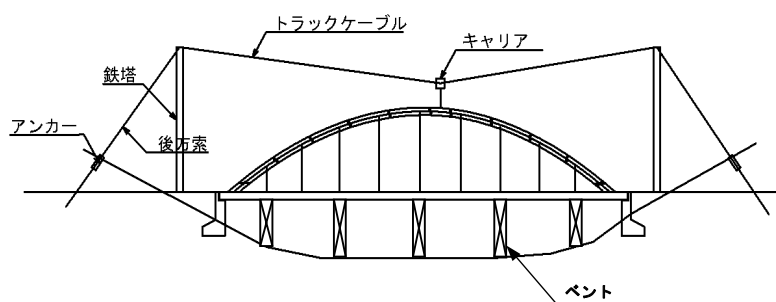
① 自走式クレーン（TC, CC）ベント工法



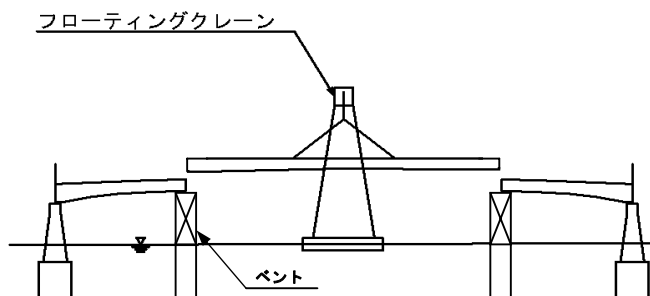
② トラベラクレーン（TRC）ベント工法



③ ケーブルクレーンベント工法



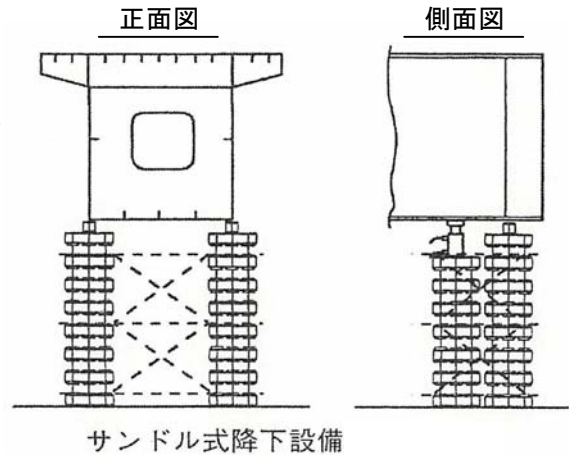
④ フローティングクレーン（FC）ベント工法



- 12) 次の記述で（ ）に当てはまる答えを選び、番号で答えなさい。
クローラクレーンで作業可能な傾斜角度は、勾配（ ）までであり、それを超える場合は地盤を整地するか作業架台等を設置するなどして、クレーン本体が水平となるようにして施工する。
- ① 1% ② 2% ③ 3% ④ 4%
- 13) 吊り足場、枠組足場について、高さ12m、組立から解体までの期間が70日の予定で設置する際、建設物・機械等設置届の労働基準監督署への提出期限について、適切なものはどれか。
- ① 設置7日前 ② 設置14日前 ③ 設置30日前 ④ 設置2ヶ月前
- 14) ベント組立時における留意事項について、次の記述のうち誤っているものはどれか。
- ① 地耐力が均等に得られるように整地する。
② ベントの組立作業は、計画書・手順書に従って行う。
③ ベント基礎形式は、接地圧に関わらずに鋼板基礎とする。
④ 組立て途中は、支柱・控え索等で転倒防止を行う。
- 15) ラフテレンクレーンの特徴について、次の記述のうち誤っているものはどれか。
- ① 作業時は、敷鉄板・覆工板等で養生した位置にアウトリガーを張り出して使用する。
② 構造上一般道路を走行することができないため、工事現場ヘトレーラで輸送して組立・解体を行う必要がある。
③ 伸縮式ブームなので、現場の状況にあわせてブーム長の調整が必要な作業に適している。
④ 移動が簡単なので、短期の工事、能力の異なる使用クレーンの混在、移動の多い現場での作業に適している。
- 16) 送出し工法における留意事項について、次の記述のうち誤っているものはどれか。
- ① 送出し設備は水平力に対応できるよう考慮する。
② 台車と桁にずれが生じないように、レバーブロック等で固縛する。
③ 軌条設備の終点には、ストッパーを設置する。
④ 送出し方向を常に確認するが、ズレは送出し作業がすべて完了してから修正を行う。

17) 主桁を降下するときのサンドル式降下設備における特徴について、次の記述のうち誤っているものはどれか。

- ① 構造が単純で運搬単位が軽量である。
- ② 桁重心がサンドル上面より上にある。
- ③ 高く積上げると不安定となる恐れがある。
- ④ 作業速度が吊下げ式降下設備より速い。



18) ケーブルエレクション工法における留意事項について、次の記述のうち誤っているものはどれか。

- ① 基礎やアンカーの掘削にあたっては土砂崩壊に注意する。
- ② アンカーフレームは最大張力直角方向に正しく据付ける。
- ③ アンカーブロック前面の土砂流失がないよう養生する。
- ④ クレーン設備は定期点検を確実に実施する。

19) 片持ち式架設工法には、一般的に適さない橋梁形式はどれか。

- ① 連続トラス橋
- ② 連続箱桁橋
- ③ 単純鈹桁橋
- ④ 上路アーチ橋（スパンドレルブレースタイプ）

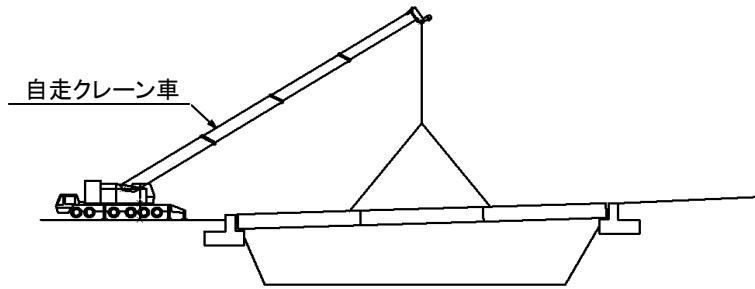
20) 片持ち式架設工法における留意点について、次の記述のうち誤っているものはどれか。

- ① 片持ち支持状態での発生断面力で設計断面が決まることがある。
- ② 閉合架設となるケースでは、変形の残留・応力調整処理が可能かを確認する。
- ③ 中間支点から左右振り分けに架設するバランスキャンチレバーの場合、安定確保の面から極力偏載荷とならないように、架設クレーンや架設手順を考える必要がある。
- ④ 片持ち状態が長期間に及ぶケースであっても、風荷重や地震荷重など面外方向の作用力に対しては検討が不要である。

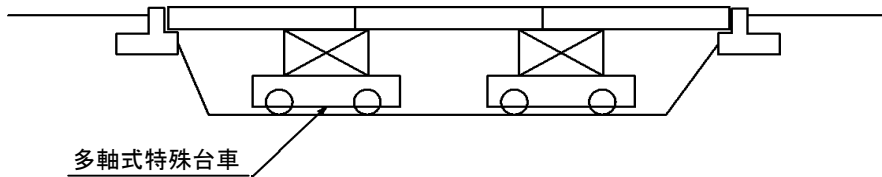
21) 次の選定条件に最も当てはまる一括架設工法を示すイメージ図は①～④のうちどれか。

- 条件
1. ベント架設が不可能である。
 2. 大型クレーンの組立、据付け場所は確保出来る。
 3. クレーン据付け位置の地耐力は確保出来る。
 4. 架設位置付近に橋桁の地組ヤードを確保出来る。
 5. 桁下に重機が進入できない。

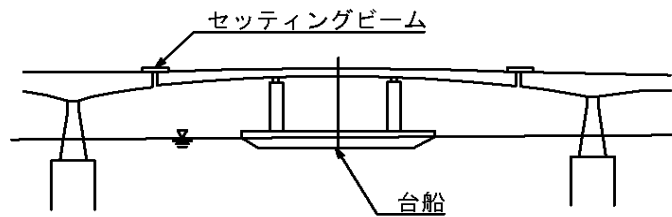
① 自走式クレーン（TC, CC）による一括架設工法



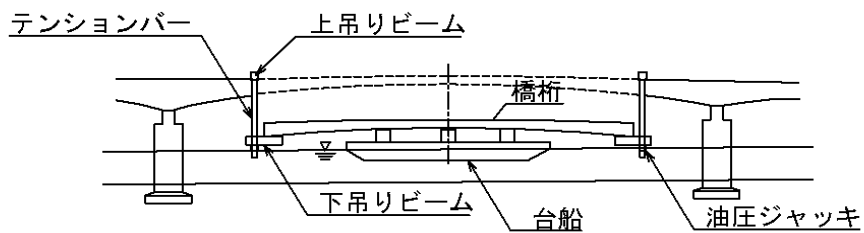
② 多軸式特殊台車による一括架設工法



③ 台船による一括架設工法



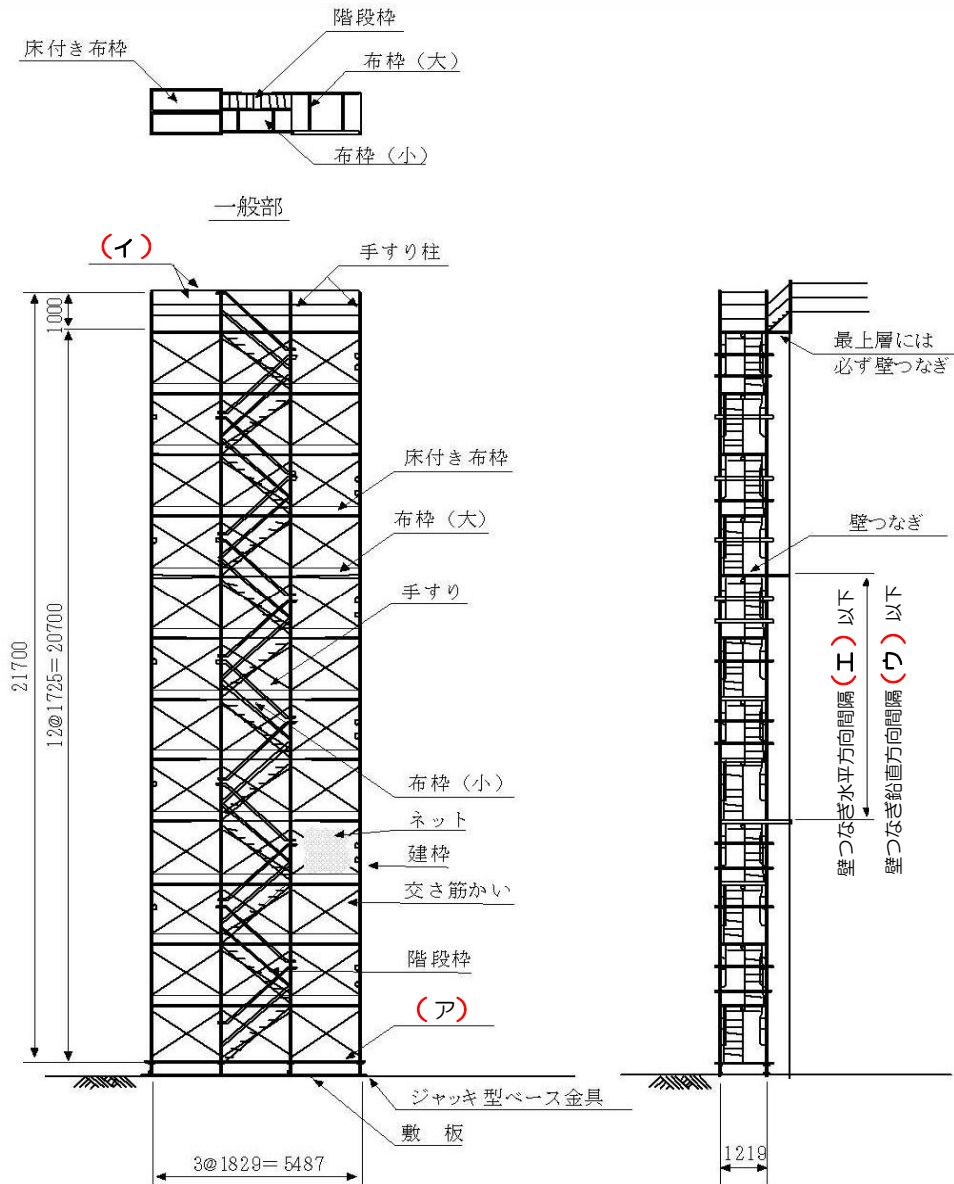
④ 吊り上げ装置による一括架設工法



22) 昇降足場図のア～エに該当する名称・数値の正しい組み合わせを下の回答群より選択し、その番号で答えなさい。

回答群

- | | | | | |
|---|--------|--------|--------|--------|
| ① | アー根がらみ | イーはなどめ | ウー 8 m | エー 9 m |
| ② | アーはなどめ | イー手すり | ウー 9 m | エー 8 m |
| ③ | アー根がらみ | イー手すり | ウー 9 m | エー 8 m |
| ④ | アーはなどめ | イー根がらみ | ウー 8 m | エー 9 m |

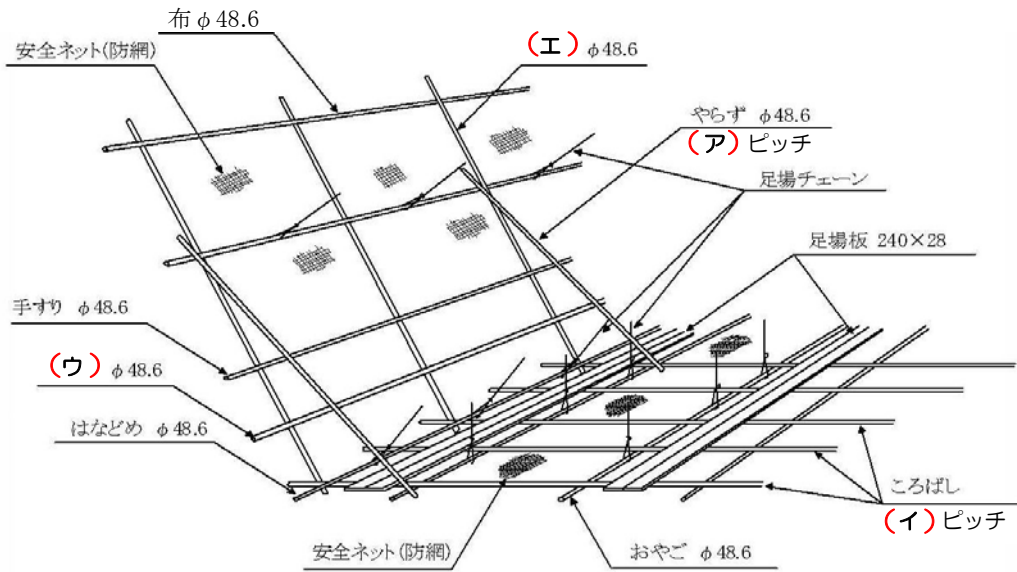


23) つり足場図のア～エに該当する名称・数値の正しい組み合わせを下の回答群より選択し、その番号で答えなさい。

回答群

- | | | | | |
|---|--------|--------|-------|------|
| ① | アー1.8m | イー0.9m | ウー中さん | エー布 |
| ② | アー3.6m | イー0.9m | ウー中さん | エー建地 |
| ③ | アー3.6m | イー1.8m | ウー中さん | エー布 |
| ④ | アー0.9m | イー1.8m | ウー中さん | エー建地 |

注記： アは、やらずの標準的な配置間隔
 イは、ころばしの標準的な配置間隔

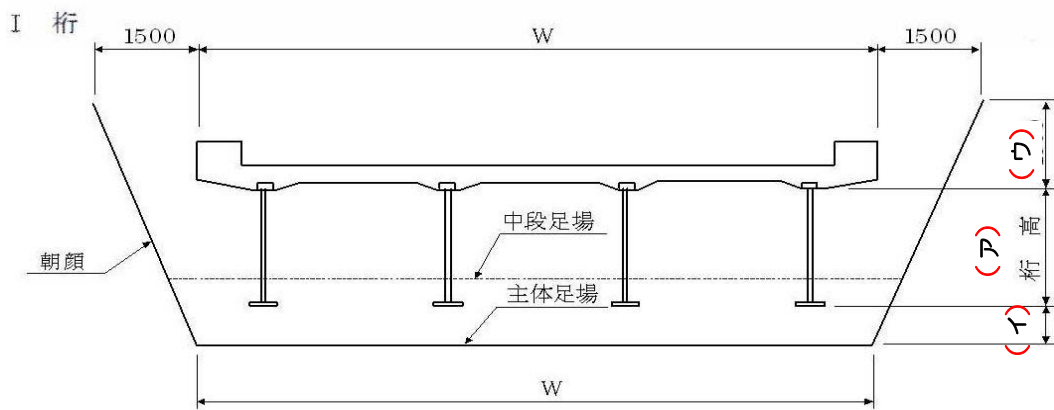


24) I 桁つり足場の構造標準で、下記の記述内のア～ウに該当する数値の正しい組み合わせを下の回答群より選択し、その番号を答えなさい。

1. 中段足場は桁高が（ ア ） mを超える場合に設置し、桁高が3.3mを超える場合には、1.8m増すごとに増設することを標準とする。
2. 桁下端から主体足場上面までは（ イ ） mmを標準とする。
3. 朝顔は、床版工事における作業性およびコンクリート打設時のはね返りを考慮し、主桁上面 から（ ウ ） mの高さを標準とする。

回答群

- | | | | |
|---|-------|-------|-------|
| ① | ア-1.5 | イ-600 | ウ-1.3 |
| ② | ア-1.5 | イ-800 | ウ-1.8 |
| ③ | ア-1.0 | イ-600 | ウ-2.0 |
| ④ | ア-0.5 | イ-400 | ウ-1.3 |



25) 支間測量に関する記述で、次のア～ウに該当する言葉の正しい組み合わせを下の回答群より選択し、その番号で答えなさい。

1. 支間測量には、間接測量と直接測量がある。

間接測量は（ア）を利用するが、角度の読みによる誤差をできるだけ少なくするよう努める。

2. 直接測量には、鋼製巻尺を使用する方法と光波測距儀を使用する方法がある。

鋼製巻尺で直接測量する場合、サグ補正、（イ）、張力補正、傾斜補正などを行う必要がある。

3. また、光波測距儀を用いる場合には、必ず基線を用いて（ウ）を行い、精度の確認を行うことが必要である。

回答群

- | | | | |
|---|-------|--------|--------|
| ① | アー対角法 | イー伸び補正 | ウー操作練習 |
| ② | アー三角法 | イー温度補正 | ウー機械調整 |
| ③ | アー三角法 | イー湿度補正 | ウー操作練習 |
| ④ | アー対角法 | イー温度補正 | ウー機械調整 |

26) 次のア～ウの測量に関する記述で、正しい言葉の組み合わせを下の回答群より選択し、その番号で答えなさい。

ア. 測量機器で角度の計測を行うときに使用するもの。

イ. 測量機器で水準測量を行うときに使用するもの。

ウ. 衛星からの電波を受信して緯度経度を測定し、位置を測量する方法。

回答群

- | | | | |
|---|----------|----------|-----------|
| ① | アーレベル | イートランシット | ウートラバース測量 |
| ② | アートランシット | イー光波測距儀 | ウーGPS測量 |
| ③ | アートランシット | イーレベル | ウーGPS測量 |
| ④ | アー光波測距儀 | イーレベル | ウートラバース測量 |

27) 足場材料の記述で、() 内に当てはまる正しい数値を下の①～④の番号で答えなさい。

足場板の種類	寸法	
	厚さ×幅×長さ (mm)	
合板足場板	28 × 240 × 4,000	18
杉材足場板	36 × 200 × 4,000	13
松材足場板	40 × 200 × 4,000	18
鋼製足場板	40 × 240 × 4,000	12.5
アルミ足場板	29 × 240 × 4,000	10.1

上表は、一般的に橋梁工事で使用されている足場板であるが、通路として使用する場合は、() 以上の幅が必要であるため、2枚以上敷き並べる必要がある。

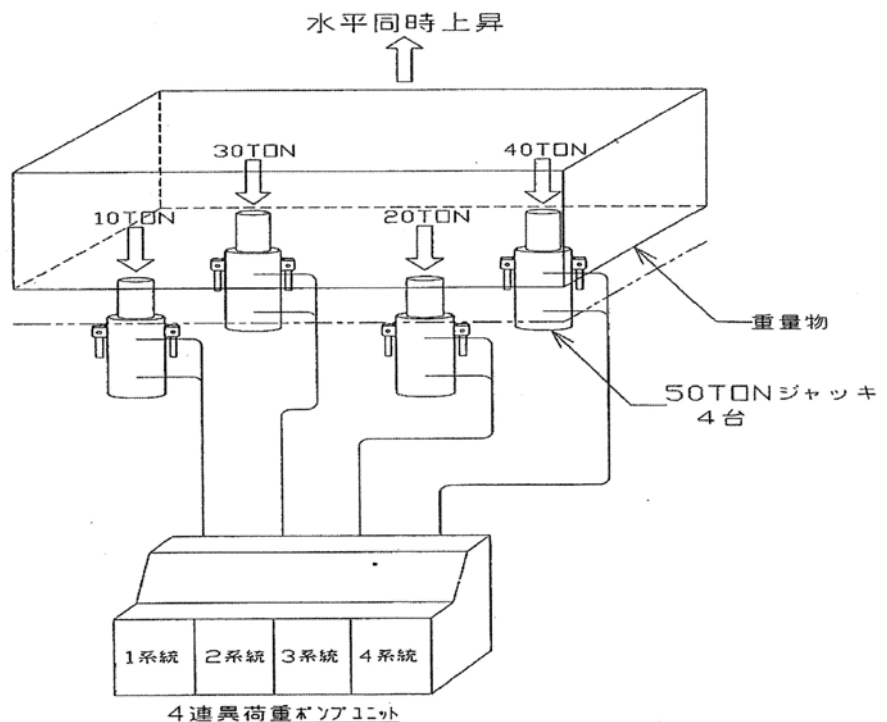
- ① 25 cm
- ② 30 cm
- ③ 35 cm
- ④ 40 cm

28) ジャッキの電動ポンプの説明で () 内に当てはまる正しい言葉を下の①～④の番号で答えなさい。

4連異荷重ポンプユニットは、A、B、C、D 4系統の独立した油圧回路が内蔵されています。

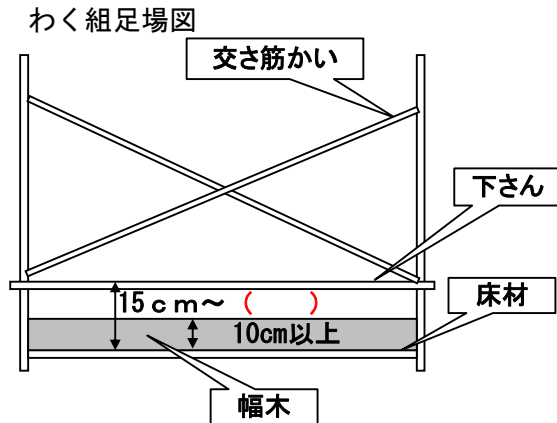
4台のポンプは同型式・() であるため、4系統の荷重にばらつきがあっても同時上昇が可能です。

- ① 同吐出量
- ② 同荷重
- ③ 同圧力
- ④ 同時生産



29) 下図の足場について、() 内に当てはまる正しい数値を①～④の中から選び、その番号で答えなさい。

- ① 30 c m
- ② 40 c m
- ③ 50 c m
- ④ 60 c m



30) 主体足場の記述で、() 内に当てはまる正しい言葉を下の①～④の番号で答えなさい。

主体足場は、桁下全面に設置するつり足場を言い、トラス・アーチ等では() に設置される。

- ① 上面
- ② 下面
- ③ 上面と下面
- ④ 部分的

鋼橋の新しい現場施工に関する問題

31) 鋼橋の新しい現場施工に関する次の記述で、誤っているものはどれか。

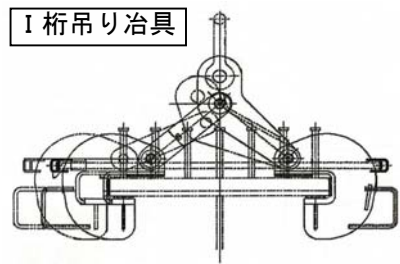
- ① ベント組み立て時の作業床と昇降設備について、内蔵型の箱型ベントを考案し、ベント組み立て時の安全確保と作業の効率化を図った。

箱型ベント



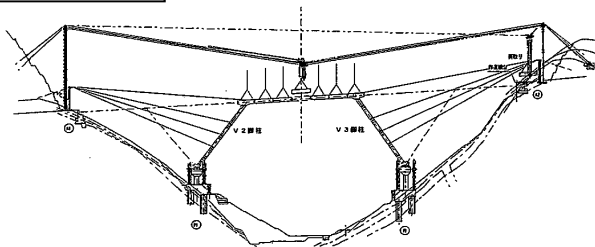
- ② 桁高が高いI桁については、輸送の制約上、桁を横にして搬入される場合が多い。これをたて起し、架設するための吊具として、上フランジを挟み込む形式の治具が考案されている。これは、吊金具切断等の作業を省略できるメリットがある。

I桁吊り治具

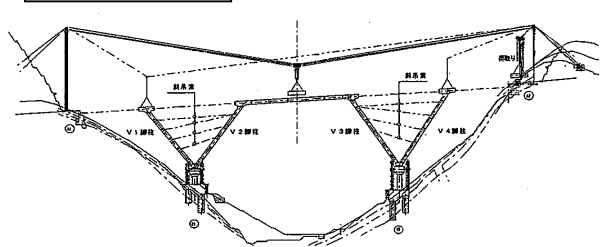


- ③ 5径間連続V脚ラーメン橋の架設工法として、中央π形状部を斜吊工法で先行架設を行い、閉合後両外側のV脚をπ形状の脚より斜吊りする。その後側径間の架設を行う。V脚は斜吊設備で支えるため設備が大掛かりとなるが、形状管理が容易となる。

π形状架設

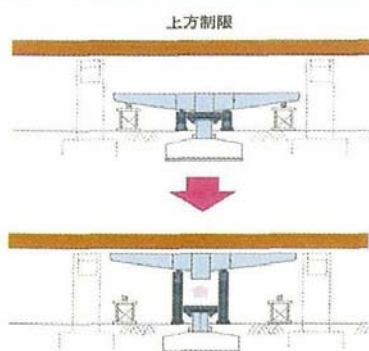


外側のV脚架設

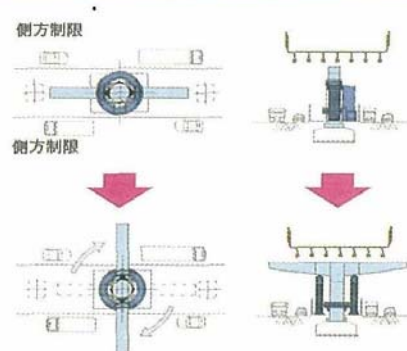


- ④ 制限されたヤード内で、交通規制を最小限として鋼製脚を架設する工法である。低い位置で橋軸方向に梁を組立て、リフトアップ装置を用いて所定高さまで扛上させて柱を架設する。その後橋脚全体を本来の方向に回転させる。上方高さ制限下での架設が可能であり、また交通規制・夜間作業が大幅に低減される。

リフトアップ要領



回転要領



工程計画・作業手順の問題

次の32)～34)の問で()に当てはまる答えを選び、番号で答えなさい。

- 32) 工程計画の目的は()であるが、工事の進め方を決める計画でもあるので、工事の安全・品質・コストがこれによって決まるといえる。

①施工速度の向上 ②工期の確保 ③施工順序の確認 ④安全確保

- 33) 工程計画に当たっては対象作業の作業可能日数、1日当たりの平均作業量および()を検討しておく必要がある。このためには施工方法・使用機材・投入人員が決まっていなければならない。

①施工速度 ②使用機材 ③作業量 ④現地工事

- 34) 不安全な行動をなくすためには正しい作業のやり方を決め、部下(仲間)に教え、これを守らせる。この正しい作業のやり方を示すものが()である。

①作業方法 ②作業手順 ③点検簿 ④工程計画

- 35) トラッククレーン設置に関する作業手順書について、「手順」と「急所」の正しい答えの組み合わせを下の回答群より選択し、その番号で答えなさい。

手 順	急 所
i. 吊上げ能力の決定	a. 移動式クレーン免許証・車検証・クレーン検査証の確認、自主点検簿のチェック
ii. 設置位置の決定	b. 定格荷重を超えて使用しない 吊り荷の下に作業者を立ち入らせない 運転者は荷を吊ったまま運転席を離れない 過負荷防止装置等の安全装置を解除しない
iii. 据付	c. 地耐力、地下埋設物、上空電線との離隔の確認
iv. 資格、検査証と点検簿の確認	d. クレーン本体旋回範囲内は立入り禁止措置 アウトリガー下の養生実施 据付後、作業半径を実測で確認
v. 吊上げ作業	e. 部材重量の確認

回答群

手順 番号	i	ii	iii	iv	v
①	e	c	d	a	b
②	e	d	c	a	b
③	b	c	d	a	e
④	b	d	c	a	e

維持・補修の問題

36) 橋梁の維持管理、保全について以下の (a) , (b) に当てはまる記述の組み合わせはどれか。

重大な事故を未然に防ぐには、構造物の (a) が破損・損傷しても (b) 構造の倒壊に繋がらないように配慮することが重要である。

	a	b
①	全部	部分
②	一部	全体
③	一部	部分
④	全部	全体

37) 鋼構造物の変状のうち、「われ(亀裂)」の内容について、以下の (a) , (b) に当てはまる記述の組み合わせはどれか。

われ(亀裂)は、(a) あるいは過大な応力集中が作用することによって (b) 部、切欠き部に発生する。

	a	b
①	繰返し応力	部材接合
②	繰返し応力	ボルト孔
③	引張応力	部材接合
④	引張応力	ボルト孔

38) 鋼構造物の変状のうち、「腐食」の内容について、以下の (a) , (b) に当てはまる記述の組み合わせはどれか。

腐食の主な要因は、塗装劣化個所等に (a) と腐食性物質が作用することである。腐食性物質としては、大気中の亜硫酸ガスと (b) 等が挙げられる。

	a	b
①	水分	海塩粒子
②	水分	砂粒子
③	油分	砂粒子
④	油分	海塩粒子

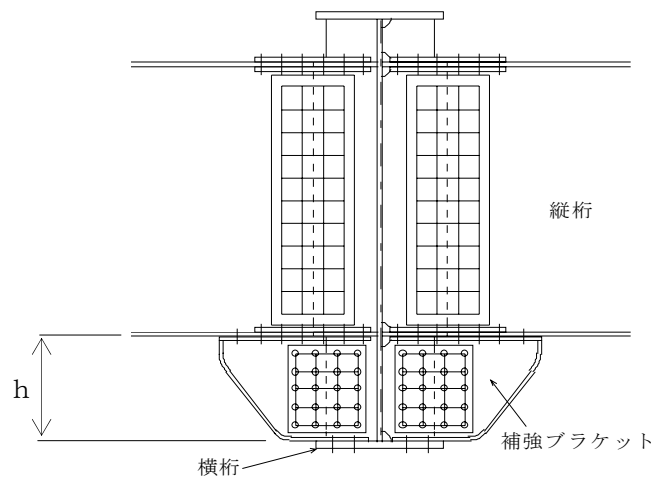
39) 「鋼床版疲労亀裂」の発生要因について、以下の (a) , (b) に当てはまる記述の組み合わせはどれか。

疲労亀裂は鋼床版の局部変形により、(a) 箇所の (b) が疲労亀裂を発生させる。

	a	b
①	ボルト接合	振動
②	ボルト接合	局部応力
③	溶接不良	局部応力
④	溶接不良	振動

40) 製作誤差がある既設構造物に、下図のような補強ブラケットを取り付ける際の、寸法hの誤差吸収の方法として最適なものはどれか。

- ① 補強ブラケットは図面寸法通り製作し、大きかった場合、既設構造物をグラインダーで削る。
- ② 補強ブラケットは図面寸法通り製作し、大きかった場合、補強ブラケットをグラインダーで削る。
- ③ あらかじめ補強ブラケットを数mm小さく製作し、フィラープレートを設置する。
- ④ 補強ブラケットは図面寸法通り製作し、誤差が発生した場合は、補強ブラケットを再製作する。



共通テキスト問題

- 41) 基幹技能者に必要な資質と能力について、次の記述のうち誤っているものはどれか。
- ① リーダーとして大切なことは「信頼」だが、その信頼は約束を守るところから得られる。
 - ② 健康でなければ、強力なリーダーシップの発揮は難しい。
 - ③ 理屈を言う前に実行出来る人が、リーダーシップを発揮する。
 - ④ 決断力と仕事の信念は相反するものである。
- 42) 基幹技能者に求められる能力の詳細について、次の記述のうち誤っているものはどれか。
- ① 職務に係る技術提案等を積極的に行い、全体の成果に結びつけることができる。
 - ② 部下の意見、提案に耳を傾けなくとも、目標を明確に示して行動する。
 - ③ 原価管理に係る基本的な知識を有し、常にコスト意識をもって行動することができる。
 - ④ 工事の実状に即した作業手順書の作成ができる。
- 43) 実務に役立つ話し方について、次の記述のうち誤っているものはどれか。
- ① 「管理者の効果的な話し方」によると、話すことは重要だという認識を持つこと。
 - ② 「管理者の効果的な話し方」によると、自信を持ち、熱意を込めて話すこと。
 - ③ 「管理者の効果的な話し方」によると、話は長い方がよいと認識すること。
 - ④ 「管理者の効果的な話し方」によると、聞き手を無視することなく、相手の「目」と「表情」を読むこと。
- 44) OJTを進める上で重要なポイントは、教える相手に対して、何をどの程度教えるのか把握した上で指導することとされている。次の記述のうち誤っているものはどれか。
- ① 日常の仕事を通じて行う指導と教育が、可能な目標と項目であること。
 - ② 部下が意欲をもって取り組めるものであること。
 - ③ 目標値はできるだけ、最大値に近いものであること。
 - ④ 目標は設定期間終了時に評価が可能であること。

45) 労働安全衛生法および関係規則についての内容で、次の記述のうち正しいものはどれか。

- ① 事業者は、労働者を雇い入れたときは、従事する業務の安全衛生教育は免除される。
- ② 事業者は、玉掛の有資格者にクレーンの運転その他業務に従事させてもよい。
- ③ 事業者は、労働者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、保健師による健康診断を行わなければならない。
- ④ 事業者は、快適な職場環境をつくるために、労働者の疲労を回復するための施設あるいは設備の設置または整備を行わなければならない。

46) 施工管理に関する内容で、次の記述のうち誤っているものはどれか。

- ① 仮設備工事は、本工事と異なり、施工業者の技術と工夫による改善の余地が大きく残されている。
- ② 仮設備工事は、工事規模に係わらず予算を十分確保し、労働安全衛生規則に基づいた計画を立てなければならない。
- ③ 仮設備工事は、直接仮設と共通仮設に区分される。
- ④ 本工事施工のため直接必要なものを直接仮設と呼ぶ。

47) 工程・資材管理に関する内容で、次の記述のうち誤っているものはどれか。

- ① 工場立会い検査は、製作資材が製作図通り製作されているかどうか、現場搬入前に検査を行う。
- ② 計画的に搬入できるよう搬入工程表を作成し、他業者にも説明、理解を得て、スムーズな搬入を行うようにする。
- ③ 搬入受け入れ検査は、購入依頼した内容と納品書の内容、仕様、数量、破損や変質がないか、付属品や予備品がそろっているか検収する。
- ④ 残材切れ端等の廃材が生じたときは、その日の作業終了時に分別しないで処分する。

48) 原価管理に関する内容で、次の記述のうち誤っているものはどれか。

- ① 施工管理者は、いかにして実行予算の範囲内で工事を完成させるかに工夫を凝らすことが必要である。
- ② 工事原価のうち比重の大きい材料の選定、歩留まりの向上、手直し等の未然防止、工期の短縮、仕上げ施工後の養生に気を配り、自らの成すべき重要ポイントを把握し、原価管理することが重要である。
- ③ 見積書は、経営者の意志決定資料であると同時に、工事費がいかに合理的であり、かつ適正であるかを受注者に納得してもらうための説明書でもある。
- ④ 建設業者は、建設工事の注文者から請求があったときは、請負契約が成立するまでの間に、建設工事の見積書を提示しなければならない。

49) 品質管理に関する内容で、次の記述のうち誤っているものはどれか。

- ① 管理を行うにあたっては、「管理のサイクル」を早く、正確に、経済的（効率的）に繰り返して回し、反省、処置することによって仕事のやり方のレベルを一段と向上させること（スパイラルアップ）が重要である。
- ② 管理のサイクルがうまく回らないのは、一般に「管理の責任者が明確になっていない」場合や、「うまく回っているか」が一目でわかる指標がない場合といわれる。
- ③ Q C 的問題解決のプロセスには、（１）問題抽出（２）経験、勘、度胸、思いつき（３）対策の実施の順に進めて解決する。
- ④ 問題には、顧客のクレームなど、他から与えられる問題と、「よく考えたらこれは問題だ、何とかしないと」という、探さないとわからない問題とがある。

50) 「仕事（ビジネス）と管理者（マネージャー）」に関する内容で、基幹技能者は、管理者（マネージャー）であり、企業業績向上の強力な推進役とされる。次の要件で誤っているものはどれか。

- ① 問題解決能力とコミュニケーション能力。
- ② 部下を育成する能力と自分自身の自己啓発。
- ③ 「リスクの予知、予測」をイメージする能力。
- ④ 妥協、黙認、見逃し、放置、放任の常態化。

登録橋梁基幹技能者講習

平成22年度試験問題の回答

安全管理

問 題	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)
回 答	②	④	①	③	②	④	①	③	②	④

架設概論

問 題	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)
回 答	①	②	③	③	②	④	④	②	③	④

問 題	21)	22)	23)	24)	25)	26)	27)	28)	29)	30)
回 答	①	③	②	①	②	③	④	①	②	③

工程・作業手順

維持補修

問 題	31)	32)	33)	34)	35)	36)	37)	38)	39)	40)
回 答	③	②	①	②	①	②	①	①	③	③

共通テキスト問題

問 題	41)	42)	43)	44)	45)	46)	47)	48)	49)	50)
回 答	④	②	③	③	④	②	④	③	③	④